



### 罫線は投資の杖

今村証券  
監査役 米田 信昭



入社した昭和34年ころは先輩の姿を見ながら行動し、情報入手は新聞と30分ごとに繋ぐ東京・大阪への電話や短波放送から得られる株価程度のものだった。窓口に来られるお客さまは株価値動きに一喜一憂して投資をしており、儲けと損の繰り返して成果が上がらない様子であった。

外回りをしている罫線を眺めている果物屋さんに出会った。話を聞いて「罫線は役に立つよ」と薦められた。それ以降、日経朝刊の株式欄を基に、今日はどう動くか、明日は、と考えながら足を引いた。誰が引いても同じ型にな

「女性が更年期後長く生きるのには一部の鯨とアフリカ象のほかは人間だけ」と新聞にあった。そういえば、これら女性を揶揄して物議を醸した知事さんがいた。お待ちください終れば殺つぷ



### アフター

小林洋行  
管理部長 森野 修

「アフターを真剣に考える歳になった。今読み始めたのが深田久弥著になる『日本百名山』。近所の人が還暦後、百名山踏破を思いつき、60歳代半ばで既に70近く登ったという。知識も経験もなく、ただ体力と財力だけで好きなことをやる、これを聞きジェラシー交じりに押入れの奥からこの本を引っ張り出したわけだ。修験道

和の大合唱が何時の間にか規制強化に変調している。バコからルールへ。タバコのCMに限らず、世の流れがそうなのは分かる。ただこの間、日本人の個人資産がひよとして海外資本に流出しているのではないかと。そう考えると普段右往左往して資産も全くない自分が何故か急に国粹的になつてしまう。このテーマもアフターまでに暖めたい。

## 鑑橋随想

(順不同)

### 「癌」告知

東陽レックス  
管理顧客サービス部長 米倉 龍次



人生好事魔多しの証なのか、医師より「皮膚癌発症、左手中指切断」との突然の告知。自宅近くの総合病院へ紹介状持参で翌日受診したところ同様の診断。「中指、あきらめてください」と言われた時の心境はまさに複雑。

がんには自動的に5年間という長い品質保証期間がついてくる。その間いつ再発するかはわからない。それ故、2カ月後、再発防止のため放射線治療を25営業日行い、その後も2カ月に1回の診察、検査は欠かせない。品質保証切れまであと3年、腹部の皮膚を移植し、見事に再生を果たした我が中指君のためにも「癌なんかには負けられない」。

### 囲碁とロマン

豊商事  
執行役員 白石 知芳



私と囲碁との出会いは遡ること20数年前、まだ大阪砂糖取引所の場合をしていた時でした。板寄せ取引でしたので各節の空き時間に初めてみる囲碁に興味を持ち、人の打つ手を見ながら覚えたことが懐かしい。昨年より単身赴任の身となり、休日等、時間の余裕が出来た時には碁会所へ行き3時間程度打ち、余暇を楽しく過ごせる囲碁との出会いに感謝しています。

囲碁の世界も勝負をする時にはその人の性格がよく出るもので、職業上(営業管理)人間観察のよき場となり、いろいろな人との出会いも楽しく、囲碁の面白

### 平成のねずみ小僧

コムテックス  
管理部長 渡邊 俊満



昭和51年から5年間ほど、電電公社(現NTT)の下請けで電話工事の仕事に従事しておりました。電柱の上とか、マンホールの中の作業で夏なんかは、暑くて昼食の弁当も喉を通らず、持って行ったお茶もその頃にはなくなつてしまい、今のように自動販売機にはお茶もなく、コーラをご飯にかけて流し込んでいました。冬の風の強い日とか電柱の上で作業をしていると、寒くて鼻水が出てくるのですが、風が強く拭く間もなく飛ばされてしまいました。別にその仕事が好きになったのではありませんが、もっと人に喜んでもらえる、しかもそ

れでいて、こちらにも利益が得られる何か良い仕事はないものかと考えていました。もちろん、その頃は商品先物取引業界のことは知りませんでした。ある偶然から大学の先輩がこの業界で活躍していることを知り、その仕事内容を聞かされ、これしかないと思いました。初めの頃は仕事が大変楽に感じ、こんなんでいいのかわかりませんでした。顧客に益がでれば喜ばれ、まるで「ねずみ小僧」とはこのことだと快感を覚えました。最近では難しいことが多くなりましたが、顧客に喜んでもらう工夫・努力で「ねずみ小僧」になりたい、と今でも思っています。

### 真鱈

ハーベストフューチャーズ  
金融商品本部長 寒河江 亮一



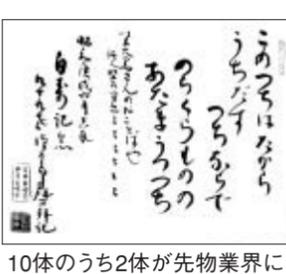
今夏、帰省した小樽で市場の魚屋に立ち寄った。店頭には、朝獲れの生イカ、ヤナギノマイ、ハタハタ、ウニ、トキシラス、ホッキなどがバラ氷の上に並べられていたが、その中につつ切りにされた5キロほどの真鱈がドンと横たわっていた。真鱈と言えど冬の鍋料理が定番だが、夏の真鱈の塩焼きも美味だ。冬のように白子とか真鱈子を楽しむことはできないが、その分、身に脂がのり、淡白な味わいと重なり合っている。鮭屋に行く予定で家を出たのだが、真鱈の誘惑に負けて一塊のぶつ切りを買って帰った。塩焼きは期待通り

りの美味で、冷酒との相性も抜群。酔うにつれて真鱈を追いかけてアラスカ、ロシアと駆け回っていた日々が昨日のことのように思い出される。米国水域から日本漁船がフリーズ・アウトされた1987年当時、日本フレッジによる操業にこだわり続ける、事業を現地化することが出来なかった。情勢分析に欠け、柔軟な発想が出来なかつたことで、新たなビジネス・チャンス逃してしまつた。今でも悔いが残る。私にとって真鱈は美味しい魚である以上に人生を振り返らせてくれる貴重な魚だ。

## 見 拝 平櫛田中作「大黒天」

のらくら者の頭打つ  
カネツ商事相談役 清水 正紀

なる。書家でもある田中は、添え書きにこう記している。「このつちはたからうちだすつちならで、のらくらものあたまたうつち」田中作・大黒天の植はジャラジャラお金飛び出す小植ではなく、のらくらと怠ける者の頭を打つ植だというのだ。勤儉をモットーとする清水さんは、木彫りの像よりも、この含蓄に富む書に一目惚れしたのだ、107歳まで生きた作者の長寿にあやかるうと購入に踏み切ったのかも知れない。昭和45年といえは、盟友鈴木四郎氏が東穀取理事長を退任した時でもあるが、清水さんは同志にはかつて、鈴木氏にこの大黒天と同じものを退任記念に贈つたという。百貨店の当時の美術担当部長によると、田中は大黒天を10体制作したそう、うち2体が東穀関係者で占められた。そして35年、業界は未曾有の危機に直面しているが、田中大黒天は「悲観しているばかりじゃしようがない。もつと頭を使え！」と植をふるおうとしているのではないか。



10体のうち2体が先物業界に

### 先物協会 情報提供型CMを制作・放映

商品先物取引の始まりから投資家の声による活用方法までを落語家が楽しく解説する90秒のインフォマーシャル(情報提供型CM)を先物協会が作成、BSジャパンの投資情報番組「マーケットウイーク」(毎週土曜日午前11時~同45分)で11月4日から放映を始めた。今年7月末に当協会が開設した投資家応援ナビやホームページの紹介も行っている。

商品先物取引所、大阪・堂島米会所について浮世絵を交えて説き、商品先物取引を知るにはどうすればいいか、どこで投資家の生の声を聞かかーなどを高座で語る。CMイメージ図

事務局長より  
上の欄の記事のように、先物協会の新しいテレビCMが始まりました。一度ご覧いただきまして、ご意見・ご感想などをeメール、FAX等で事務局までお寄せ下さい。お待ちしております。月日は未定ですが、今後、一般投資家向けサイト「商品さきもの投資家応援ナビ」(http://www.toushikaouen-navi.jp/)にも掲載し、より多くの方々にご覧いただく予定です。